

観光社会資本の事例

テーマ	身近なまちづくり事業によるまちなみ保全	
【施設の状況写真】		
		
<p><small>に おうざ</small> 二王座地区は、立体的に歴史的景観が連続します</p>	<p><small>に おうざだいひがしどおり</small> 二王座台東通りの頂上付近から望む臼杵のまちなみ風景。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p><small>うすき</small> 臼杵の歴史が多く残された地区であり、観光客も近年増加しています。</p>	<p>毎年11月に行われる<small>たけよひ</small>竹宵まつりの風景。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p><small>に おうざだいひがしどおり</small> 二王座台東通りは、身近なまちづくり支援街路事業により石畳舗装で整備されており臼杵らしい城下町としての景観が展開する道です。この道は、「<small>に おうざ</small>二王座歴史の道」から続く散策道であり頂上付近まで散策すると臼杵のまちなみが一望できる場所があります。また、毎年11月には「中央通り商店街<small>はっちょうおおじ</small>(八町大路)」を中心に<small>たけよひ</small>竹宵まつりが開催され、1万数千本の竹ぼんぼりと竹の美を追究したオブジェに明かりが灯り幻想的な世界を映し数多くの来訪者が訪れています。</p>		

テーマ	身近なまちづくり事業によるまちなみ保全
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 二王座台東通り</p> <p>所在地 大分県臼杵市大字二王座</p> <p>事業名 身近なまちづくり支援街路事業</p> <p>事業主体 臼杵市役所</p> <p>事業期間 平成13年度～平成16年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>歴史的景観・文化財保護効果</p> <p>臼杵城下町が16世紀半ばに開かれて以来、現代に至るまで、位置と幅員を変えずに残るこの街路は、石畳美装化によって周囲の歴史的景観形成誘導をはかる求心力となっているのと同時に、貴重な学術資料として保護されています。</p> <p>居住環境向上効果</p> <p>この街路の石畳美装化は、通過車両が歩行者優先の意識をもたせ、また、散策する観光客が秩序ある観光を楽しむようになったことで、さらに臼杵らしく静かで落ち着いたたたずまいの環境向上がはかられています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>二王座台東通り</p>	
<p>【関連ホームページ】臼杵市観光情報協会ホームページ http://www.usuki-kanko.com/</p>	

